

令和7年度 第4回瑞穂町地域保健福祉審議会 質疑等について

質疑等(資料 3-1 について)

ページ	取組番号・係名	質疑
1-24 PDF 資料 基本目標 1 24 ページ	1-(5)-① 高齢者福祉課 高齢者支援係	高齢者支援係は他の係と比べて毎年度(令和4年度を除き)、効果 C、評点50と厳しい結果となっている。その主な理由を知りたい。 令和 6 年度の「結果を踏まえた今後の課題」で退会抑制を図ることや PR 継続していくこと等で会員増強に取り組む必要がある。とありましたが、令和7年度、退会の抑制を図るための手立てとしてどんなことをしたのか。また、その成果はどうだったのか。広報みずほ以外に行った PR があったのか。
回答		町では、公益社団法人瑞穂町シルバー人材センターの運営に関して、財政的支援を行っていますが、定年延長や再雇用の増加などによる社会状況の変化に伴い、全国のシルバー人材センターで会員の確保が難しい状況となっています。令和6年度も、そのような社会状況もあり会員の減少となりました。高齢者の就労支援という観点から、会員数が減少していることから効果判定 C としました。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、入会初年度の会員会費を無料とし、新規会員の増加を図りました。町では、広報みずほに毎月掲載し、成果として、令和7年12月時点で令和6年度と比較して3人の増加となりました。今後も引き続き、広報による PR で後方支援をしていきます。
2-56 PDF 資料 基本目標 2 24 ページ	2-(5)-② 社会教育課 社会教育係	令和6年度、取組状況で、総合人材リストの周知や利用促進に向けた広報やホームページでの PR を行った。とあり、結果を踏まえた今後の課題、効果判定、評点において、厳しい結果となっていた。そして、令和7年度においても総合人材リストが減少したとなっている。新たな周知方法の研究はどこまで進んでいるのか？
回答		引き続き、広報、ホームページで周知しつつ、令和7年度は町内会連合会の会議の場で、総合人材リストについての概要説明をし、全町内会宛にチラシの配付も行いました。 今後はSNSを利用したPRを検討します。

3-85 PDF 資料 基本目標 3 24 ページ	3-(3)-⑨ 安全・安心課 交通防犯担当	毎年度、効果判定を C、評点50と厳しい結果となっているが、文章においては、その結果の理由がはっきりしない。厳しい結果を付けた根拠を知りたい。
回答		令和7年度も、例年どおり「安全・安心まちづくり協議会」にて、協議会委員である、西多摩地区保護司会瑞穂分区、福生警察署、PTA、防犯協会等の団体との意見交換及び情報共有を実施しました。しかし、あくまで情報共有のみに留まり、具体的な施策等の実施に至らなかったため、例年どおりの評価としました。今後は各団体同士の連携強化に努めます。
4-118 PDF 資料 基本目標 4 9 ページ	4-(2)-⑤ 健康課 健康係	毎年度、効果 C、評点が50となっているが、取組状況が同じ文言になっている。結果を踏まえた今後の課題との整合性はどうなっているのか。
回答		喫煙・飲酒・薬物と健康被害での取組では、広報や産業まつりでの啓発の他、関係各課等と連携し、各事業を行っています。 妊婦や子育て世代の喫煙については、妊婦面談や乳幼児健診等の機会を通じ、胎児や子どもの健康への影響について、助言や指導を行っています。 小・中学生の若い世代に対しては、各学校で実施しているがん教育、また、がん教育の際に町で実施しているがん検診事業の紹介を通じて、保護者も含め、喫煙等の影響について、知識の普及・啓発に努めています。 また、中高年に対しては、健康相談や特定保健指導を通じ、喫煙や飲酒についての、助言や指導を行っています。 その他、薬物乱用防止協議会と連携し、ポスターや標語の募集を通じて、薬物の危険性の啓発に努めています。 このような取組を、調査票では、「各種保健事業」という文言で記載してしまっていることから、今回いただきましたご質問になったかと存じますので、今後、記載方法を改めます。 各事業については、数値として、すぐに結果がでるものではありませんが、引き続き、粘り強く各事業に取り組んでいきます。